

教員紹介

マークの説明

歴 主な経歴 研 現在の主たる研究領域・テーマ

修 学位論文の指導ができる教員

修士論文の指導については、学生の研究内容により主指導担当以外の教員も論文指導を行います。
詳細はオープンキャンパスなどでお問い合わせください。

飛田 満

TOBITA, Mitsu

教授・研究科長 博士(文学)

歴 筑波大学大学院博士課程哲学・思想研究科修了、ミュンヘン大学留学(DAAD)、目白大学社会学部地域社会学科長を経て、現・社会学部部長

研 社会哲学・環境倫理学・エコロジー思想。地球環境問題の倫理学的・社会的な研究、持続可能な開発目標(SDGs)に関する理論的・実践的研究、および社会哲学的な視点における西洋近代・現代思想の研究。

廣重 剛史

HIROSHIGE, Takeshi

教授・専攻主任 博士(学術)

歴 慶應義塾大学商学部商学科卒、早稲田大学大学院社会科学研究所修士課程修了、同博士後期課程単位取得退学。高崎経済大学助手、早稲田大学社会科学総合学術院助教等を経て現職

研 社会哲学、社会デザイン、経済社会学。コミュニティ再生に関する理論的な研究とともに、東日本大震災後は気仙沼市での地域活性化と植林活動に携わっている。

石井 貫太郎

ISHII, Kantaro

教授 博士(法学)

歴 慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻後期博士課程修了。東洋英和女学院大学専任講師・助教授、目白大学助教等を経て現職

研 政治理論および国際政治理論のパラダイム間論争とそれを生み出す政治社会および国際社会における現象変化との因果関係に関する考察を行うとともに、リーダーシップの政治学的な理論の構築を目指した研究を行っている。

高久 聡司

TAKAKU, Satoshi

教授 博士(学術)

歴 中央大学文学部卒業、東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程修了、東京工業大学大学院社会理工学研究科価値システム専攻博士後期課程単位取得退学

研 NPO論、都市社会学、教育社会学。特に都市空間と子どもへのまなざしをめぐる行政と市民の論争の歴史社会学的研究、および若年層の就職に関する実証的研究。

長崎 秀俊

NAGASAKI, Hidetoshi

教授 修士(経営学)

歴 法政大学大学院社会科学研究所博士後期課程修了。大手事業会社や英国コンサルティング会社勤務を経て現職

研 専門分野はマーケティングやブランド論。特に近年は、グローバル・ビジネスにおけるマーケティング戦略やブランド戦略、そしてソーシャルマーケティングやパッケージを介したブランド・アイデンティティの分野に強い関心を持ち、研究を進めている。

山口 晋

YAMAGUCHI, Susumu

教授 博士(文学)

歴 関西学院大学文学部卒業、大阪市立大学大学院文学研究科前期博士課程修了、同後期博士課程単位取得退学。信州大学経済学部助教を経て現職

研 人文地理学、とりわけ都市の文化社会地理学を専門としている。

赤木 妙子

AKAGI, Taeko

教授 博士(史学)

歴 慶應義塾大学文学部史学科卒業、慶應義塾大学大学院文学研究科史学専攻修士課程修了、同博士課程修了

研 日本近代史——とりわけ幕末期以降の日本人の海外移住について、歴史学的に研究している。南北米大陸に移住した日本人の《日常》を史料から復元する作業を通じて、《社会集団》の形成過程や《歴史認識》の生成過程について考えている。

大西 律子

OHNISHI, Ritsuko

教授 博士(工学)

歴 東京工業大学大学院情報理工学研究科情報環境学専攻博士課程修了。民間の研究機関・コンサルティングで地域計画・事業等、公共政策の調査・立案業務に従事

研 市民参加型まちづくりの可能性を社会工学的アプローチにより探りながら、まちづくりの協働・共同化に向けたシステムの検討・構築に取り組んでいる。

鈴木 章生

SUZUKI, Shousei

教授 博士(文学)

歴 立正大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程修了。江戸東京博物館学芸員等を経て現職。品川区立品川歴史館館長

研 祭礼、社寺参詣、名所巡りなど、都市の祝祭空間における文化的事象と人々の行動心性に関する研究に、歴史学・民俗学の立場から取り組んでいる。さらに、博物館の展示と地域社会における市民ボランティアの役割と運営に関する研究を行っている。

早川 雅子

HAYAKAWA, Masako

教授 文学博士

歴 筑波大学大学院哲学・思想研究科修了。目白大学人文学部教授等を経て現職

研 研究テーマ「19世紀前中期の江戸・東京における家族の実態と道徳思想」について、①人別帳のデータから家族の実態を分析し、家意識や家族観を読み取る、②この時期の民衆道徳の内容や意味を、都市住民・家族の現実という文脈から解釈する。

堀内 直哉

HORIUCHI, Naoya

教授 政治学修士

歴 明治大学大学院政治経済学研究科政治学専攻博士後期課程単位取得満期退学、ハンプルク大学(歴史学科)留学

研 近現代ドイツ外交史を主な研究テーマとしている。とりわけ、1871年のドイツ帝国設立以降におけるビスマルクの対外政策と、1933年に政権を掌握したヒトラーの対外政策を中心に研究を進めている。

野呂 純一

NORO, Junichi

専任講師 博士(経済学)

歴 学習院大学経済学部卒業、学習院大学大学院経済学研究科博士前期課程修了、同博士後期課程単位取得退学。東京女学館大学国際教養学部専任講師等を経て現職

研 応用ミクロ経済学をベースに、国際ボランティア、観光経済学に関する研究を行っている。

教員紹介 検索ページ

著書・論文歴、所属学会、学会発表など教員についての詳細は、
こちらをご参照ください。

本学公式サイト

「教員紹介 検索ページ」はこちら▶

